

日本農業新聞

耐暑性品種を売り込み



種苗メーカー各社が展示と試食で一押し品種をアピールした(5日、神奈川県藤沢市で)

神奈川で見本市

卸売会社や種苗メーカーなどをつくる青果育種研究会は5日、神奈川県藤沢市の湘南藤沢地方卸売市場で品種見本市を開いた。「湘南野菜を増や

そう」をテーマに、種苗メーカー14社が暑さに強い露地栽培向き品種を紹介した。生産者や市場関係者など約120人が参加し、意見を交わした。

展示では、耐暑性品種や、作業性が良い品種を

PRした。アサヒ農園は、単為結果性で、とげがないナス「ラクロ」を売り込んだ。授粉が不要で省力化、低コスト化が見込めるといふ。みかど協和は、耐暑性と耐寒性を持つ長ネギ「夏の宝山」を紹介。コンパクトな草姿で、風に強く、葉折れが少ないと説明し

た。

横浜丸中青果湘南支社の山田大淳支社長は、都市農業の抱える問題について講演。「湘南野菜一のブランド化で飲食店やスーパーで需要が高まる一方、生産量が足りていないとして、「夏でも栽培でき、高齢者でも作れる品種が欲しい」と種苗メーカーに期待を述べた。